

# 地域学科 国際地域文化コース 募集予定 5人

わたしの  
AO入試  
(現 総合型選抜)



## 故郷を元気にしたいから、もっと地域学を学びたい

高校の「地域探究」という専門科目で、私は地元集落の魅力を発信するプロジェクトに取り組みました。約30年前に造られた彫刻公園のことを調べてパンフレットを作成し、地域の人に伝えようというもの。これをきっかけに「地域学が学びたい」という思いが芽生えました。私の姉も同じ学科に進学しており、自然と鳥大を第1志望に選んでいました。

願書は先生に添削していただき何度も書き直し。姉からも「この部分は自己推薦書に書いて、浮いた文字量で志望理由をもっと膨らませて」とアドバイスが。書く内容によっては、志望理由書と自己推薦書の両方に通じるものがあるから、どちらに書けば思いがより伝わるのかを考えながら構成するのは一つのポイントですね。

## 量より質、テーマに沿った自分なりの意見を大切に

地域学の本を読んで知識を広げ、専門用語について調べて説明できるようにしておくという対策は、入試の間ずっと継続。また、面接の想定問答もたくさん考えて練習しました。グループディスカッションは「ジェンダー」がテーマ。私は深く考えたことのない分野だったけど、周りの人は知識が豊富で、たくさん発言していたので焦りました。でも振り返ってみれば、大切なのは知識や発言の多さではなく、自分の考えを簡潔に話すことだったと思います。入学までに取り組む「eラーニング」は、鳥大から与えられる最初の課題です。「ここで手を抜くと、その後の大学生活も同じようになってしまう」と思い、最後までやり遂げました。新生活への良いスタートとなりました。

4年

こばやし えみか

小林 笑果さん (兵庫県立村岡高等学校 出身)

MY  
FAVORITE  
"TOTTORI"

鳥取愛にあふれた街と人にほっこり♪

鳥取の市街地にはゆったりできるお店がいっぱい。私のお気に入りには高齢女性が営むコーヒー専門店です。昭和レトロな雰囲気と、鳥取愛を感じるお話とお茶でほっこりしました。

全文は  
Webで!



## 第2次選考

## 選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2022年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2023年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して  
求める力

**文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があり、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらを分かり易く表現する力を求めます。**

グループ ディスカッション	人種や「肌の色」をめぐる差別をテーマとする資料4点(A4版6枚)を読んだのち、無自覚・無意識の差別の問題を解消していくためには何が重要か、1グループ7名で140分間のグループディスカッションを行いました。進行は教員が行いました。
課題論文	個人のアイデンティティにおける「分人」という概念を論じたエッセイ(A4版3枚)を読み、90分で設問(2問)に解答するものでした。設問の内容は、著者の主張をまとめるもの(200字以内)、および「分人」という概念の長所・短所を指摘した上で、「自己の多様性」に対する受験生自身の考えを、具体例を挙げて論述するもの(800字以内)でした。
個人面接	3名の面接官による、一人あたり15分の面接を行いました。

## ●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性	思考の柔軟性
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○		○
2次(課題論文)	○	○	○		○	
2次(面接)		○	○	○	○	